

一般財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

第14回 幼児教育実践学会

〔 本学会の位置付けは、当機構が主催する実践を中心とした全国研究会です。 〕

第1次案内（予定）

●テーマ 「新しい時代を伸びやかに生きる」
～社会に開かれた質の高い幼児教育を～

●趣 旨

幼児教育の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、2010年、幼児教育実践学会がスタートしました。

本学会では、3つの柱により学会運営を行います。

- ①保育現場での実践を踏まえ、発表は事例を用いて、現場にフィードバックできることを念頭に研究会では参加者同士が活発に意見交換を行う
- ②生きた研修のメイキングの仕方を学び、全ての園の園内研修の充実を目指す
- ③保育実践者と研究者が共に育ちあう

●期 日 2023年8月18日(金)・19日(土)【2日間開催】

●予定会場 東京都 大妻女子大学千代田キャンパス
(〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地)

●定 員 600人

●参加費 7,000円

問い合わせ先(参加の方法、研究発表の方法、学会内容など)

一般財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館

☎ 03-6272-9232 Fax 03-6272-8363

Mail info@youchien-kikou.com

一般財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

大会の流れ（予定）

○第1日目

11:30～	12:30～ 13:15	13:15～ 14:45	14:45～ 15:10	15:10～ 16:40	16:45～ 17:30	17:45～ 18:30
受付	開会式 表彰式	基調講演Ⅰ	休憩	基調講演Ⅱ	研究者による プレゼンテーション	ポスター会場 準備

※昼食のご用意はありません。各自でお取りください。

※「表彰式」では、当機構の令和4年度優秀教員表彰者を表彰します。

※17:45～、第2日目開催のポスターで発表される方は、ポスター掲示等の準備をいたします。

○第2日目

9:30～ 11:00	11:10～ 13:40	14:00～ 15:30
口頭発表Ⅰ	ポスター発表(昼食) 研究者(大学教員)発表	口頭発表Ⅱ

※終了後は各自解散となります。

※上記は予定のため、今後時間等が変更になる可能性がございます。あらかじめご了承ください。

参加を希望される方へ

○「開催要項」及び「参加申込書」は5月以降に改めてご案内させていただきます。

○普通会员は幼稚園ナビにて本学会の参加申込を受け付けます。

○普通会员の参加費のお支払いはクレジットカードのみとなります。カード情報の登録は幼稚園ナビでの申込みの際に行っていただきます。参加を希望される方は、クレジットカードのご用意をお願いいたします。参加者ご自身でクレジットカードのご用意が難しい場合には、園の代表者様やご家族様にお支払いいただきますようお願いいたします。

○普通会员以外の方は、幼稚園ナビを通じての申込ができませんので、当機構へ直接申込書及び参加費を送付ください。なお、普通会员以外の方とは共同研究者・研究者等の大学教員や賛助会員等を想定しております。

*普通会员は、都道府県私立幼稚園団体に加盟している私立幼稚園等です。

*賛助会員は、本機構の目的に賛同し、その事業に協力する個人、団体又は企業です。

○原則、当日参加は受け付けません。

○定員に達し次第、締め切らせて頂きますのでご了承ください。

発表を希望される方へ

【発表資格】発表者は、次の条件を満たしていることが必要です。

- ① 幼児教育の実践に携わっていること。或いは、実践を基に研究を行っていること
- ② 「口頭発表」（地区・都道府県）は2023年4月21日（金）までに、「ポスター発表」は5月22日（月）までに申込書・企画趣旨概要を提出済みであること
- ③ 発表者は大会に参加して発表ならびに討論・質疑応答に参加すること

【研究・発表形態と条件】

- ① 保育実践をより豊かにすることを目指すことから実践を踏まえた研究であること
- ② 特に地区からの口頭発表は、保育実践者と研究者が共に育ち合うという意味から、できるだけ大学等の共同研究者に参加して頂くこと
- ③ 研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、参加者が提案事例をより共有しながら進められるように出来れば動画や写真など映像等を用いていること
- ④ 既発表のものでも構いません
- ⑤ 発表は園児、保護者等の個人情報等の管理等について発表者の責任において行っていただくこと（発表後、当機構ホームページや機関誌等で報告に使わせていただきます。）

【口頭発表(地区・園)】

① 申込方法

- ・申込書・企画趣旨概要を都道府県団体事務局へ提出してください。
- ・発表数：20 発表
- ・締 切：2023 年 4 月 21 日(金) 宛先：各都道府県団体事務局
- ・**※件名に「第 14 回幼児教育実践学会 口頭発表申込み」と必ず記載ください。**
- ・申込書のフォームは当機構ホームページからダウンロードができます。

② 発表要領 (1セッション 90 分)

- ・発表時間は 1 発表につき 50 分程度(共同研究者の発表も含む)の発表で、残りの時間を質疑応答(討議)します。実践学会では討議の時間が大切だと考えておりますので、その時間が十分に取れますように時間配分にご配慮ください。
- ・発表に際しては、出来るだけ実践での写真や動画を用いて参加者が提案事例をより共有しやすいようにしてください。

③ 留意点

- ・当日は口頭発表会場の教室に備え付けの PC(Windows)を利用していただくことを推奨します。発表に使用されるデータを USB に保存してご持参ください。
- ・口頭発表当日にスクリーンに投影されるパワーポイントデータを MacBook で作成される場合には、文字化け等の恐れから教室に備え付けの PC(Windows)ではなく、MacBook を各自でご持参ください。また、プロジェクターの接続端子は HDMI または VGA で、MacBook 本体にない接続端子ですので、変換アダプタ(コネクター)等も各自で必ずご用意ください。

【ポスター発表(園・個人)】

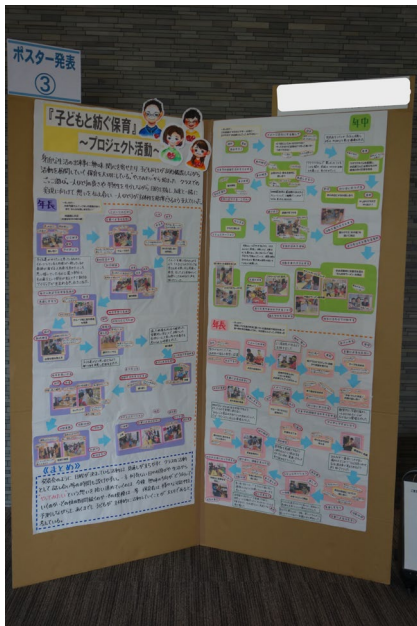
① 申込方法

- ・申込書・企画趣旨概要を当機構へメールにて提出してください。
- ・発表数：50 発表
- ・締 切：2023 年 5 月 22 日(月) 宛先：info@youchien-kikou.com
- ・**※件名に「第 14 回幼児教育実践学会 ポスター発表申込み」と必ず記載ください。**
- ・申込書のフォームは当機構ホームページからダウンロードができます。
- ・普通会员及び賛助会員以外の発表者については、発表費として 1 発表あたり 5,000 円をいただきます。発表費は参加費をお支払いいただく際にあわせてお支払いください。
*普通会员は、都道府県私立幼稚園団体に加盟している私立幼稚園等です。
*賛助会員は、本機構の目的に賛同し、その事業に協力する個人、団体又は企業です。

② 発表要領 (1セッション 150 分)

- ・発表者は、縦 180 cm×横 90 cm×2 枚のスペースに実践研究の要旨・図・表・写真などを貼ったポスターをご準備ください。ポスターを貼る土台は当機構にて準備いたします。(〔ポスター発表イメージ〕写真参照)会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。セッション時間中は、必ず在席してください。
- ・持参される資料や貴重品等については、紛失しないよう各自で管理してください。
- ・発表ポスターは各自が持参し、1 日目 17:45~所定の場所に貼り、2 日目発表終了後各自で撤収し、持ち帰りください。
- ・テーマに関わらず、原則 1 園 1 発表に限らせていただきます。

[ポスター発表イメージ]



【その他】

- ・「開催要項」及び「参加申込」、についての案内は、5月以降を予定しています。
- ・交通チケットなどは各自でご予約ご購入ください。

【研究者(大学教員)発表】

① 参加資格と目的

- ・参加資格：大学教員であること。また、本学会の趣旨をご理解いただいていること。
- ・目的：幼児教育実践学会 3つの柱にご理解いただいている研究者の方の実践や理論を聞き、保育者や園長など保育実践者が本学会をきっかけに出会い、そして共に育ち合う関係を目指していくことを目的に行う。

② 申込方法

- ・申込書を当機構へメールにて提出してください。
- ・締切：2023年5月22日(月) 宛先：info@youchien-kikou.com
※件名に「第14回幼児教育実践学会 研究者発表申込み」と必ず記載ください。
- ・申込書のフォームは当機構ホームページからダウンロードができます。

③ 発表要領(予定)

- ・1日目：16:45~17:30

「研究者によるプレゼンテーション」にてご登壇いただき、お一人5分~10分程度でご自身や研究についてのご紹介を行ってください。申込者数によって時間のご相談をさせていただきます。

(発表形態：プロジェクターを使用できます。パワーポイント、写真、動画を用いて参加者が共有しやすいようにお願いします。)

- ・2日目：11:10~13:40

ポスター発表会場にて、「研究者(大学教員)発表」を行ってください。ブースは設けておりますが発表形態、発表時間は自由となります。

(発表形態：ポスター発表、資料やPCによる研究発表、名刺交換会等)

【その他】

- ・研究者(大学教員)の方も発表者・参加者と同様に参加費をお支払いいただきます。発表に関しての代金はいただきません。参加申込についてのご案内(開催要項)は申込書に記載されたメールアドレス宛に5月以降順次お送りいたします。

○幼児教育実践学会の3つの柱

【1】 この学会で行う研究は、保育現場での実践を踏まえ、発表は事例を用いて、現場にフィードバックできることを念頭に研究会では参加者同士が活発に意見交換を行う

ア. 保育実践をより豊かにすることを目指すことから、実践を踏まえた研究であること。

イ. 研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、参加者が提案事例をより共有しながら進められるように出来れば写真や動画など映像等を用いていく。

ウ. 保育実践者や研究者など参加者同士が活発に意見を交わす事を大切にしながら保育現場にフィードバックできる生きた研究になることを目指していく。

【2】 生きた研修のメイキングの仕方を学び、全ての園の園内研修の充実を目指す

今、すべての私立幼稚園等、一園一園の保育の質の向上、つまり一園一園の保育者、保育者集団の資質向上が求められている。そのためには、対外的な研修もさることながら、各々の園で行われる“園内研修”が質を高めるための根幹となるべきである。園内研修は、日々同僚性の中で効果的に行われ、保育者が仲間に支えられながら自信をもつことができたり、課題を明確にしたりしながら、結果的に教師集団としての質が高まっていくことが重要である。保育者同士が互いに同僚性の中で支え合いながらチーム〇〇園として力を発揮していくことが重要です。

そのために、この実践学会の役割として、生きた研修のメイキングの仕方を学び、実践学会から地区へ、そして最終的には全ての園の園内研修に活かし各園の質の向上を目指す。

【3】 保育実践者と研究者が共に育ちあう

今、保育の現場では、研究のフィールドを保育現場におき、子どもにとってふさわしい保育や生活がより豊かになるように実践を理論的に支えてもらえる研究者が求められている。保育者や園長など保育実践者と研究者が本学会をきっかけに出会い、そして共に育ち合う関係を目指す。